

様式第1号（第2条関係）

## 伐採及び伐採後の造林の届出書

令和4年4月1日

曾於市長 殿

【森林所有者又は管理者】

住所 〒899-8692

曾於市 末吉町二之方 1980

氏名 曾於 太郎 印

電話番号 0986-76-8808

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

## 1 森林の所在場所

財部町	〇〇-〇
	〇〇-×
曾於市 末吉町 大字 北俣 字 内ノ宇都	〇〇-△
大隅町	

## 2 伐採及び伐採後の造林の計画

別添の造林計画書（様式3号）及び伐採計画書（様式4号）のとおり

## 3 備考

## 注意事項

- 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 伐採する者と伐採後の造林をする者が異なり、これらの者が共同して提出する場合にあつては、当該伐採する者と当該伐採後の造林をする者が、伐採及び伐採後の造林の計画をそれぞれ作成した上で提出すること。
- 伐採及び伐採後の造林の計画は、森林の所在場所ごとに記載することとし、面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。

様式第2号（第2条関係）

## 確約書

（登記名義人）

曾於 太郎 が所有する下記の森林につきましては、私が代表者として、伐採及び伐採後の造林の届出書を提出いたします。

なお、本件に関する問題が発生した場合は、責任をもって解決することを確約します。

## 誓約事項

- ① 伐採区域及び隣接地との境界を十分に確認して伐採を行います。
- ② 地元自治会長及び隣接者への伐採の内容を事前に説明して伐採を行います。
- ③ 伐採に当たっては、林地の保全、落石の防止、土砂の流失及び風水害等各種災害を誘発することのないよう、十分考慮して行います。
- ④ 伐採・搬出に公共物（市道、農道、林道、作業道、その他）を反復して利用する場合は、申請書又は届出書を提出し、万が一破損した場合は、原形復旧を行います。
- ⑤ 伐採に起因する事案が生じた場合には、伐採中及び伐採後においても森林所有者並びに伐採事業者がその責任を負い、原形復旧及び森林保全の早期回復を行います。

土地の所在地

曾於市 財部町北俣 内ノ宇都 〇〇-〇

〇〇-×, 〇〇-△

令和4年4月1日

【森林所有者及び現管理者】（続柄等）本人

住 所 曾於市 末吉町二之方 1980

氏 名 曾於 太郎 印

【伐採事業者】

住 所 曾於市 末吉町南之郷〇〇

氏 名 〇〇林業 印

様式第3号（第2条関係）

造林計画書

【森林所有者】

住所 曾於市 末吉町二之方 1980

氏名 曾於 太郎

電話番号 0986-76-8808

【造林事業者】

住所 曾於市 末吉町南之郷△△

氏名 ○○森林組合

電話番号 0986-76-○○○○

1 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積（A+B+C+D）	1.2 ha
人工造林による面積（A+B）	1.2 ha
植栽による面積（A）	1.2 ha
人工播種による面積（B）	ha
天然更新による面積（C+D）	ha
ぼう芽更新による面積（C）	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他（ ）・なし
天然下種更新による面積（D）	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・ その他（ ）・なし

(2) 造林の方法別の造林の計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数	鳥獣害対策
人工造林 （植栽・人工播種）	令和5年2月～ 令和5年3月	杉	1.2ha	3000本	
天然更新 （ぼう芽更新・ 天然下種更新）					
5年後において 適確な更新が なされない場合					

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

--

2 伐採後の造林に係る状況報告書の報告者

- 森林所有者
- 造林事業者

3 備考

--

注意事項

- 1 造林の方法が人工造林の場合、森林所有者と造林する者が連名により記載すること。
- 2 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 3 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林」又は「木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林」のうち特に効率的な施業が可能な森林の区域内にあつて、植栽による更新を行う森林として定められているものの伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 4 造林樹種欄、樹種別の造林面積欄及び樹種別の植栽本数欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 5 5年後において適確な更新がなされない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合であつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積、樹種別の植栽本数及び鳥獣害対策を記載すること。
- 6 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。
- 7 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合にのみ記載すること。

## 様式第4号（第2条関係）

## 伐採計画書

## 【伐採事業者】

住所 〒 899-8608  
曾於市 末吉町南之郷〇〇  
氏名 〇〇林業  
電話番号 0986-〇〇-××

## 【提出者】

住所 〒 同上  
氏名  
電話番号

## 1 森林の所在場所

財部町	〇〇-〇
曾於市 末吉町 大字 北俣 字 内ノ宇都	〇〇-×
大隅町	〇〇-△

## 2 伐採の計画

伐採面積	1.2 ha(うち人工林1.2ha、天然林 ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100 %
伐採樹種	杉		
伐採齢	55年		
伐採の期間	令和4年4月30日～令和4年5月30日		
集材方法	集材路・架線・その他( )		
集材路の場合 予定幅員・延長	幅員 2.5 m ・ 延長 25 m		

3 伐採後の状況報告書の報告者

- 提出者
- 伐採事業者

4 備考

注意事項

- 1 提出者と伐採者が異なる場合は、提出者と伐採事業者が連名で記載すること。
- 2 伐採者が請負等に伐採行為を委託する場合は、作業委託先に実際の行為者を記載すること。
- 3 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 伐採齢欄には、伐採する森林が異齢林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「（○～○）」のように記載すること。
- 6 伐採の期間が1年を超える場合においては、年次別に記載すること。

## 様式第6-1号（第2条関係）

## 行政財産管理者との協議書

下記の所在場所の立木を伐採したいので、搬出に必要な行政財産管理者と協議しました。  
なお、行政財産等の使用にあたっては、遵守事項を確認し伐採します。

## 1 森林の所在場所

大隅町 曾於市 末吉町 大字 北俣 字 内ノ宇都 ○○-○, ○○-×, ○○-△ 財部町
---

## 2 伐採に係る搬出路等の協議関係者（該当する協議関係者にチェック）

- 建設課 ※支所においては建設水道課  
 耕地課（農道・水路）※支所においては産業振興課  
 法定外公共物（農林振興課で指示（                      課）

協議日 令和      年      月      日

担当課名 \_\_\_\_\_

担当者 \_\_\_\_\_ (印)

協 議 内 容	協 議 結 果
伐採期間： 令和      年      月      日～令和      年      月      日 伐採場所：鹿児島県曾於市 路線名：                      号	承認      ・      否認

ここは、道路管理者が記入します。

協議業者      ○○林業      (印)

協議者名      末吉 一郎

協議者連絡先      0986-○○-××

※協議者と伐採事業者が違う場合

伐採業者 \_\_\_\_\_

伐採業者担当名 \_\_\_\_\_

伐採業者連絡先 \_\_\_\_\_

受付番号（                      ）

## 様式第6-2号（第2条関係）

## 地元関係者等との協議書

下記の所在場所の立木を伐採したいので、地元関係者と協議しました。  
なお、道路等の使用にあたっては、遵守事項を確認し伐採します。

## 1 森林の所在場所

大隅町 曾於市 末吉町 大字 北俣 字 内ノ宇都 ○○-○, ○○-×, ○○-△ 財部町
---

## 2 伐採に係る搬出路等の協議関係者（該当する協議関係者にチェック）

- 土地改良区（管理道・水路）  
 地元自治会等

協議日 令和 年 月 日

団体名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_ ⑩

連絡先 \_\_\_\_\_

協議内容	協議結果
<input type="checkbox"/> 方が一道路等の施設を損傷させた場合は、現状復旧すること <input type="checkbox"/> 通行の際は地元車両を優先すること その他特記事項 ( )	承認 ・ 否認

※伐採作業により協議物件に損害を与えた場合は、上記協議内容のとおり、当事者間で紛争を解決します。

ここは、地元自治会や土地改良区等  
が記入します。

協議業者名 ○○林業 \_\_\_\_\_ ⑩

協議者名 末吉 一郎 \_\_\_\_\_

協議者連絡先 0986-○○-×× \_\_\_\_\_

※協議者と伐採事業者が違う場合

伐採業者 \_\_\_\_\_

伐採業者担当名 \_\_\_\_\_

伐採業者連絡先 \_\_\_\_\_

様式第7号（第7条関係）

## 伐採に係る森林の状況報告書

令和4年6月1日

曾於市長 殿

## 【報告者】

住所 曾於市 末吉町南之郷〇〇

氏名 〇〇林業

電話番号 0986-〇〇-××

令和4年4月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

## 1 森林の所在場所

財部町	〇〇-〇
	〇〇-×
曾於市 末吉町 北俣 字 内ノ宇都	〇〇-△
大隅町	

## 2 伐採の実施状況

伐採面積	1.2ha(うち人工林1.2ha、天然林 ha)		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100%
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無		
伐採樹種	杉		
伐採年齢	55年		
伐採の期間	令和4年4月30日～令和4年5月30日		
集材方法	集材路・架線・その他( )		
集材路の幅員・延長	幅員2.5m・延長25m		

### 3 備考

--

#### 注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○~○)」のように記載すること。

様式第8号（第8条関係）

## 伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和5年4月1日

曾於市長 殿

## 【報告者】

住所 曾於市 末吉町南之郷△△

氏名 ○○森林組合

電話番号 0986-76-○○○○

令和4年4月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

## 1 森林の所在場所

財部町	○○-○
	○○-×
曾於市 末吉町 大字北俣 字 内ノ宇都	○○-△
大隅町	

## 2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	鳥獣害対策
人工造林	植栽	R5.2.20 ~R5.3.30	杉	1.2 ha	3000 本	
天然更新				ha	本	

## 3 備考

--

## 注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合には、ぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 4 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 5 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 7 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 8 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。